

新会社設立にともなう社内システムを クラウド・バイ・デフォルト原則の方針で半年間で構築

Microsoft 365 Enterprise E5 Security による
ゼロトラストセキュリティがリモートワークを強力に支援



HR ガバナンス・リーダーズ株式会社 コーポレートガバナンス R&D部 コンサルタント 高木 悠氏、常務取締役（経営企画管理担当） 対比地 信雄氏、指名・人財ガバナンス部 パートナー 臼井 淳氏（写真左より）

企業のサステナビリティ経営を支えるコーポレートガバナンスに関する統合的なコンサルティングを専門に行う三菱UFJフィナンシャル・グループの新会社、HRガバナンス・リーダーズ株式会社（以下、HRGL）では、Microsoft 365 を中核に業務システムをオールクラウドで構築。ゼロトラストのセキュリティ環境によりリモートワークへのスムーズな対応を実現しました。

【会社概要】

企業のサステナビリティ経営を支援する HRGL

● HRGLについてご紹介ください。

HRGLは、企業のサステナビリティとコーポレートガバナンスに関する統合的なコンサルティングサービスを提供する新会社として、三菱UFJ信託銀行株式会社の出資により設立され、2020年10月1日より業務を開始しました。

HRGLのコンサルティング業務は他のコンサルティング事業者とは一線を画すもので、サステナビリティ、戦略・リスク・監査、指名・人財、報酬の4つのガバナンス領域を中心に展開。クライアント企業のコーポレートセクレタリ機能を担い、取締役会改革を通じたサステナビリティ経営を支援します。



HR Governance Leaders
Earth Driven COMPANY

HRガバナンス・リーダーズ株式会社

代表者：代表取締役社長 CEO 内ヶ崎 茂
本社所在地：東京都千代田区丸の内 1-4-5
設立：2020年4月1日
資本金：9.8 億円（資本金 4.9 億円 + 資本準備金 4.9 億円）
従業員数：約 70 人
事業概要：サステナビリティガバナンスコンサルティング、
戦略・リスク・監査ガバナンスコンサルティング、
指名・人財ガバナンスコンサルティング、指名・
報酬ガバナンスコンサルティング、上記コンサル
ティングに関する商品開発および調査研究、信託
代理店業務

短期間で終了するプロジェクトではなく、「深く、濃く、長い」クライアントとの信頼関係を築き、中長期的に企業価値を高めサステナブルな経営を実現する ESG（Environment、Social、Governance）、経営戦略、役員人財、報酬制度という統合的なストーリーを提案するコンサルティングサービスとなります。

具体的には、クライアント企業のパーパス実現に向けた、いわば会社の舵取りである「コーポレートガバナンス」について、取締役会が社会的な視点を持ってリーダーシップを発揮するためのアドバイザーとなり、クライアント企業の各種ガバナンス委員会などに参画。経営の執行（マネジメント）と監督（ガバナンス）の役割を明確化した上で、サステナビリティ視点で執行と監督を有機的に機能させることで、強靱な取締役会の実現に向けた支援を行っています。

【利用状況】

オールクラウドを基本コンセプトに新会社の業務システムを構築

● 今回、JBSが導入をサポートしたシステムについて教えてください。

会社の設立・業務の開始にともない社内の業務システム環境をゼロから構築したのですが、JBSにはそのサポートを全面的にお願いしました。

導入をサポートしてもらった主なシステムは、Microsoft 365を中心に、Webセキュリティやメール誤送信対策、ファイル転送サービス、さらにはIP電話サービスや無線LAN環境の構築などとなります。

導入サービス	
グループウェア	Microsoft 365 サービス Microsoft Exchange Online …メール&スケジューラー Microsoft Teams …コミュニケーション&コラボレーション Microsoft OneDrive …クラウドストレージ Microsoft 365 Apps …Office アプリケーション
	Microsoft Azure Active Directory …ID アクセス管理
セキュリティ	サードパーティソリューション Zscaler Internet Access …Web セキュリティ SPC Mail エスティー …メール誤送信防止支援

●HRGLが業務開始時に導入した主なシステム（一部）

●導入したシステムのポイントがあれば教えてください。

システムを設計するにあたり、生産性や業務効率を最大化すると同時に、導入や運用にかかる時間、負荷、コストを最小限に抑えるために、オールクラウドで構成することを基本コンセプトとしています。

Microsoft 365を活用することで、ドキュメント作成やデータ分析といった作業環境や、社内外とのコミュニケーション環境、そしてエンドポイントやクラウドサービスの利用にともなうセキュリティ対策は

ほぼ実現できます。Microsoft 365の機能をカバーする他のサービスも活用しており、たとえば、Microsoft Teams（以下、Teams）で大容量のファイルを外部と送受信できるようにするために、JBSが提供しているセキュアファイル転送アプリケーション「metis fiebie」を利用しています。

●今後の展開予定などあれば教えてください。

具体的には決まっていますが、Microsoft SharePoint Online（以下、SharePoint）を活用した情報共有環境の拡充をはじめ、Microsoft Power Platformによる業務アプリケーションの開発、Microsoft Power Automateによる自動ワークフローの活用、さらにはAzure Information Protectionによるセキュリティの強化（ファイルの暗号化）などを図っていきたいと考えています。

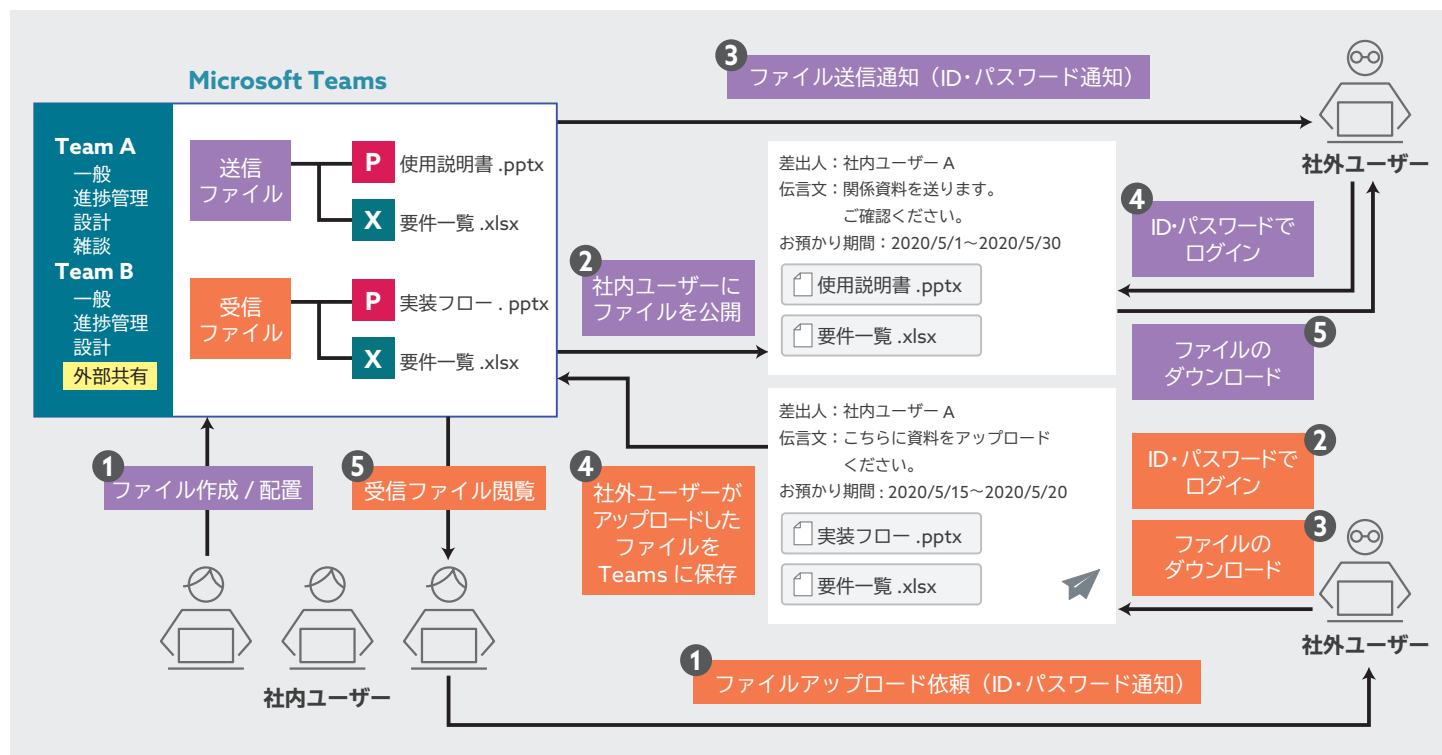
【導入背景】

限られた準備期間で、確実に業務を開始するためクラウドに精通しているJBSに相談

●JBSがシステム構築の支援をするにいたった経緯を教えてください。

2020年10月から業務を本格的に開始する予定で、半年前の同年4月に会社が設立されました。当社は現在約70名の社員がおりますが、そのほとんどがコンサルタントで、設立時から今もシステムの専任担当者はいません。

限られた期間でシステム環境を整備するため、当初からITサポートベンダーに相談をしていたのですが、私たちの要件に見合う提案が上がってきませんでした。そのため、クラウドに精通したベンダーとして紹介を受けたJBSにも提案を依頼することになりました。



●セキュアファイル転送アプリケーション metis fiebieの利用例



HRガバナンス・リーダーズ株式会社
常務取締役（経営企画管理担当）
対比地 信雄氏



HRガバナンス・リーダーズ株式会社
指名・人財ガバナンス部
パートナー 白井 淳氏



HRガバナンス・リーダーズ株式会社
コーポレートガバナンスR&D部
コンサルタント 高木 悠氏

● どのようなシステム要件を考えていたのでしょうか。

クライアントに高品質なアウトプット、すなわちドキュメントや資料を作成するための道具として、使いやすく生産性が高いツールであることが重要となります。資料は1人で作るわけではなく、複数の担当者によるコラボレーションで完成させていきますので、そのためのフレキシブルでパワフルなコミュニケーションインフラが必要となります。

一方、導入や保守に縛られるサーバーや複雑なシステムは持ちたくなかったので、クラウド・バイ・デフォルト原則の方針は絶対でした。クラウドであれば、維持に人手やコストがかからず陳腐化もしませんが、システムの一部でもオンプレミスの環境があれば、クラウドのメリットは半減してしまうと考えていました。

そして、当社は銀行業務などはいませんが、三菱UFJフィナンシャル・グループの一員として定められているセキュリティポリシーが求める厳しい要件をクリアしなければなりません。

【選定理由】

オールクラウドによるシンプルで未来志向のシステム提案に期待

● JBSからの提案を採用した理由を教えてください。

正直なところ、これまでグループの中でオールクラウドでシステムを導入・運用している例がなく、当初相談をしていたベンダーからもセキュリティも含めオールクラウド環境は難しいという提案を受けていました。その内

容は悪いものではなかったと思いますが、現状と比較すると重厚長大で、運用などの負担にも不安を感じざるを得ませんでした。

一方、JBSは当社の方針や実現したいことをすぐに理解して、短期間でオールクラウドによるシンプルで未来志向のシステムを提案してくれました。疑問点や不明点があれば、すぐに解決策や詳細な説明を提示してくれましたし、担当者の対応もプロフェッショナルリズムが高く信頼できました。

加えて、提案されたシステムのほとんどはJBS社内でも実際に活用されているものなので、提案内容にも非常に納得感がありました。

そのほか、セキュリティ要件をクリアする提案だったこと。マイクロソフト製品に限らずマルチベンダー環境で最適なシステムを提案してもらえること。システムのカットオーバーまで明確なスケジュールが提示されていることなどを踏まえ、JBSへ全面的にサポートを依頼することにしました。

【導入効果】

生産性の向上、リモートワークへのスムーズな対応、導入コスト削減を実現

● システムの導入効果について教えてください。

専任のシステム担当者がいなくても、短期間で業務に必要な作業環境やコミュニケーション環境、そしてセキュリティ環境を、業務開始日までに整備できたことが最大の成果だと捉えています。

また、使い勝手やレスポンスに対して非常にこだわりの強いコンサルタントからの評価も高く、「個人やチームでの生産性の向上」や「リモートワークへの対応」、「コスト削減」といった成果も上がっています。

【効果1】生産性向上

Microsoft OfficeとSharePointによるドキュメントの共有や共同編集作業をはじめ、TeamsによるビジネスチャットやPCとスマートフォンのシームレスな使い勝手は、生産性を大幅に向上させてくれます。

一方、アプリケーションへの安全なアクセス環境や、不正アクセスのブロック、不正な情報の持ち出しなどは防止されているので、安心して共同作業に臨むことができ、リモートワークが主体となった今、その便利さをより強く実感しています。

【効果2】リモートワークへの対応

業務を開始したときからコロナウイルス感染拡大にともなうリモートワークを強いられることになったのですが、Microsoft 365 E5 SecurityとZscaler Internet Accessの組み合わせによってゼロトラストなセキュリティ環境を実現できたことが、結果的にスムーズなリモートワークへの対応につながりました。

以前の業務環境では、VPNによる接続や仮想デスクトップ環境でブラウザを使用することがボトルネックとなり、一部レスポンスや使い勝手に課題を感じる経験もありました。今回構築した新しい環境では、

接続する場所に関係なく、また接続拠点のネットワーク環境などにも影響されることなく、オープンな環境で各サービスを利用できます。Webブラウザの反応やデータの通信速度などの体感も問題なく、ストレスを感じることはまったくありません。

【効果3】コスト削減

非クラウド環境におけるシステムと比べて半分ぐらいのコストでシステムを構築できたと考えています。

また、リモートワークへの対応やTeamsを活用した外部向けのオンラインセミナーを開催する際にも、以前は外注していましたが、現在は内製化できています。追加の投資はビデオスイッチャー程度にとどまり、コスト削減効果はさらに広がると捉えています。

【JBSへの評価】

マイクロソフト製品に対する知見やコミュニケーション能力を高く評価

● JBSへの評価をお聞かせください。

JBSの担当者に恵まれたこともあるかもしれませんが、マイクロソフト製品に対する知見や経験値が高いことに感心しただけでなく、コミュニケーションが密でストレスや不安を感じることなく、安心してシステムの設計や構築を進めることができました。

また、当社との情報共有や技術サポートにもTeamsを活用するなど、コロナ禍において効率的、かつ確実、安全にコミュニケーションできる対応をしてもらえたので非常に感謝しています。

これからもJBSのサポートを受けながら生産性向上に努め、クライアント企業に貢献していきたいと思います。

【JBS 担当者からのコメント】



モダンワークプレイス本部
コラボレーションシステム2部
2グループ マネージャー
柴田 陽介

HRGL様のスタートアップに際し、ご支援ができたことを大変嬉しく思います。JBSがご提案したフルクラウドのOA環境に、深いご理解をいただけたおかげで、スムーズなデリバリーができたと感じております。



金融第1本部 金融1部
1課主任
川北 薫

HRGL様の業務開始に向けたプロジェクトに寄与できたこと、またJBSを評価いただけたことを大変光栄に思います。HRGL様とJBSが一つの目標に向かって密に連携しながら進められたプロジェクトであったと実感しております。

※JBS 担当者所属・役職情報：2021年2月17日現在

- 記載されている会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。
- 製品の仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 本事例に記載されている情報は取材時（2021年2月）におけるものであり、閲覧される時点で変更されている可能性があります。予めご了承ください。



お問い合わせ先

日本ビジネスシステムズ株式会社

〒105-5520

東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズ ステーションタワー 20F

<https://www.jbs.co.jp>